

徳 智徳の真玉

学校教育目標：命・人権を大切にし、豊かな心を持ち、
学ぶ力を身につけた、たくましい子どもの育成
ホームページ<http://hhigashi@town.aisho.lg.jp>

R元 7.1発行
秦荘東小学校
発行責任者
校長 今村 増弘

『漢字音読名人』に取り組む思い！

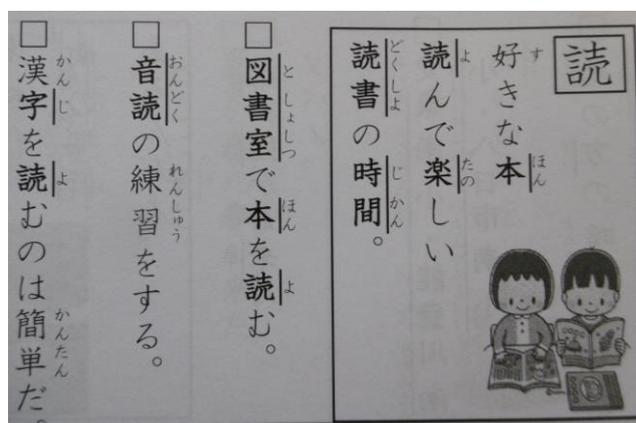
5月の智徳の真玉でお伝えしました『漢字音読名人の取組』をやり始めて2ヶ月余りが過ぎました。子どもたちは読みから始める漢字の学習になってきました。5月に続いて、もう少し『漢字音読名人』に取り組む思いをお伝えします。

「漢字はひらがなより難しい」・・・私たちは長年そう信じてきたと思います。しかし、ひらがなの文字のひとつひとつには意味がありません。ひらがなは、文字自体に意味のない「表音文字」です。それに対して漢字は、文字自体に意味がある「表意文字」ですから、正しく書けることではなく、読むことに焦点をあてれば、意味のある漢字の方が「文字」として理解しやすいのです。

5月にも紹介しましたが、子どもたちは右のように「読」という漢字の読みを学習するのに、本を読んでいる子どものイラストにも触れながら、「よむ」「どくしょ」などと音読み・訓読みに親しんでいきます。自分で読める自信がついたら、ルビを塗りつぶして見えなくして、友だちに正しく読めるか聞いてもらっています。友だち同士が確かめ合って楽しく学習が進むのも魅力のひとつです。

こうして子どもたちが学び合っていくことを積み上げれば、すでに読めて意味が分かっている漢字の書く練習をすることになります。いきなり意味も分からない漢字を書く練習から取り組んでいたことに比べて、容易に正しく書けることが想像できます。事実、そういう結果が出ています。この取組を続けていくと、例えば小学2年生の子どもが、書けないけれど4年生で習う漢字がもう読めるよ。小学校を卒業する頃には、中学校でならう漢字はほとんど読めるよという姿になるだろうと期待しています。子どもたちが新聞を読み出したり、ちょっと背伸びをした本を手にししたりするのではないか。何しろ、読めるというだけで、目から入る情報量は飛躍的に増えます。子どもがよく、「何て読むの?」と聞くことがありますね。それが意味が分かり、文字として漢字を読めるようになると、理解できるようになります。そんなに全ての漢字を正確に読める必要はありません。今よりも読める漢字が何パーセントが増えると考えただけでも、魅力的です。

子どもたちが知ることのできる情報量が数年後、飛躍的に増えること、そういうベースとなる力を手に入れた子どもたちの集団が学び合うことにわくわくする思いでいます。今より、確実に多くのことを考えられる力、言語を操り、頭で考える力を手に入れてくれることでしょう。子どもたちの伸びる力を信じ、応援していきたいと思えます。



漢字音読名人をやってみて、とても楽しくやれたと振り返っている子どもたちの感想です。

・みんなに聞いてもらったりしてうれしかったし、いっぱい進んできてるから。

漢字音読名人をやる前と比べて、漢字に対する気持ちの方が前より好きになったと振り返っている子どもたちの感想です。

・前より漢字が読めるようになった。
・音読名人の文章がおもしろくて、勉強になるから。

<ul style="list-style-type: none"> ・さいしょはあまりできなかったけど、どんどん漢字が分かってきたのでうれしかった。 ・みんながしっかりきいてくれたり、「ありがとう」と言ってくれたりする人がいたからです。 ・3人の人にサインをもらって進めていくのが楽しいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・だんだん漢字がむずかしくなってきた、読みがなを考えて読むのが楽しいから。 ・どんどん進めるようになったから。 ・前より、すらすら読めるようになったから。 ・ならってない漢字も読めるようになったから。 ・漢字があまり好きじゃなかったけど、音読名人をしたら好きになりました。
--	--

子どもたちが『漢字音読名人』の学習をしている様子を想像してみてください。お互いに確かめ合って学び合い、つながりを深めている様子が浮かんできます。漢字の学習が進むことはもちろんですが、友だち関係も深まることが感じられます。子どもたち自身が伸びようとしている本来の姿を見ているように思います。子どもたちの力を信じ、子どもたちに委ねてみるのがとても大切だと感じています。少し難しく感じている漢字が読めるようになっていく子どもたち。成長し自信をつけてくれることを願ってやみません。

毎週水曜日はノーメディアデー！

5月24日付けの愛宕町教育委員会・愛宕町立幼稚園・小中学校長会からの「減メディア・親読書」の取組はいかがでしょう。小学校の間に、メディアに接する時間をコントロールできる力を身につけることは、子どもたちが生きていくこれからの人生を豊かにするかに関わる重大事だと思います。大げさではなく、子どもたちの生き方・考え方に関わってくるだろうと思います。何しろ、ゲーム依存症などの病気（WHO 世界保健機関は病気と認定しました）《2022年に発効するWHOの国際疾病分類の改訂版「ICD-11」で、ゲームをする時間や頻度を自分で制御できない、日常の関心事や日々の活動よりゲームを優先する、日常生活に支障をきたしてもゲームを続ける、こうした状態が12カ月（重症ならより短期間）続くとゲーム障害と診断するとした。》にかかっていると、毎日の活動時間のほとんどをゲームに費やしているのですから、生き方・考え方にまで影響することは必至です。子どもたちのこれからの未来が、メディアに支配されるのではなく、メディアは上手に活用するものであってほしいと願っています。子どもたちのメディアに接している時間、一度ご家族で確かめ合ってみてください。そして、水曜日のノーメディアデーの実践から取り組んでみてください。よろしくお願いいたします。

特に、夏休み、クーラーの効いた部屋にこもって、長時間ゲームを続けるなんてことがないように、夏休みに入る前の今から、有意義な夏休みの過ごし方を話し合っ計画し、子どもたちにとって豊かな体験のある夏休みが過ごせますようよろしくお願いいたします。

7・8月の主な行事予定

7月 1日（月）登校指導・びわ湖の日の取組 2日（火）6年ブックトーク②・委員会活動 9日（火）教育相談の日・食育の日 10日（水）字別児童会⑤ 11日（木）2年ブックトーク④・第1回学校評議員会 12日（金）1年ブックトーク②・登校指導 3Bブックトーク③・3Aブックトーク④ 15日（月）海の日 16日（火）登校指導・県立近代美術館出前プログラム（なかよし）①	18日（木）給食終了 19日（金）終業式（非行防止教室）・大掃除 個別懇談会① 6年親子活動16：00～ 22日（月）夏季休業開始・個別懇談会② 23日（火）個別懇談会③ 8月 24日（土）PTA親子作業7：30～ 29日（木）始業式・大掃除 30日（金）避難訓練（地震）・給食開始 第4回PTA総務・評議員会
--	--

